

2012年度大樹会基本方針

最近の想定外の自然の力、地震・津波・原発また竜巻、人間の力の限界を感じる事が続いています。

しかし史上まれな天体ショーに朝から酔いしれた5月21日。太平洋側を中心に福島県から九州南部にかけての広い範囲で太陽の中心部が月に隠され、細いリングのようになる「金環日食」となった。

日本では1987年の沖縄以来25年ぶり、今回のように東京・名古屋・大阪の大都市も含む広範囲で見られるのは、平安時代の1080年以来で実に932年ぶり、近畿では282年ぶり、大空に輝く神秘のリングを目に焼き付けた。

格言の「寄らば大樹のカゲ」に拠ったものであるが、寄り易く集まり易いよう更に広げて大きく伸ばそうの意、大は大工大 樹は建物と縁の深い木材を表している。昭和51年6月9日に「大樹会」の愛称が決定した。

来年いよいよ我々同士の会も大きな節目である40周年を迎える。

建設業界を取り巻く環境は日増しにその厳しさを増し、まさに淘汰と激動の中にあります。大樹会会員の建築士としての能力向上は必要不可欠なものです。

また、建築士会等他団体への積極的な事業へ参加をする事による社会貢献への寄与も大事な事です。

大樹会自体も活性化をはかり更に充実し大きく発展し、その結果として社会的地位の向上を図る、その為にも会員の拡大拡充を実施すると共に、若手会員の登用をあらゆる分野で行いたい。

本年度は

- ① 建築業界だけでなく会員の情報の多様化と情報の共有化を図る委員会の設置をする。
- ② 40周年へ向けての準備実行委員会を設置する。
- ③大阪工業大学との一層の関係の改善を図り、例会へ関係者の講師として、又、来賓として参加協力をお願いする。

最後に最近の大きな課題である

- ①大樹会会員の高齢化の中、次世代の会員の確保と育成。
- ②「楽しい」「面白い」「興味ある」多くの会員を参加が得られる様な、例会・幹事会・大樹会運営を行う。

今後とも会員の皆様の協力をお願いいたします。